

令和 6 年度決算 予算決算委員会資料 商工労働部

- 1 商工労働部部決算状況調べ（一般会計） 1 頁
- 2 企業団地造成事業決算状況調べ（特別会計） 3 頁
- 3 牛岳温泉健康センター事業決算状況調べ（特別会計） . . . 5 頁
- 4 牛岳温泉スキー場事業決算状況調べ（特別会計） 7 頁
- 5 競輪事業決算状況調べ（特別会計） 9 頁
- 6 令和 5 年度決算 予算決算委員会の意見・要望・指摘事項
に対する処置状況 11 頁
- 7 令和 5 年度決算 監査委員の意見に対する回答状況 . . . 12 頁

様式1

歳 出		商工労働部 決算状況調べ（一般会計）		
区分（款項目）		予算現額 A 円	決算額 B 円	翌年度繰越額 C 円
（款）5 労働費		1,065,609,780	858,158,957	165,000,000
	（項）1 労働諸費	1,065,609,780	858,158,957	165,000,000
	（目）1 労働諸費	1,062,359,780	855,547,426	165,000,000
	2 職業訓練センター費	3,250,000	2,611,531	0
（款）7 商工費		4,509,903,774	4,151,298,978	70,500,000
	（項）1 商工費	4,509,903,774	4,151,298,978	70,500,000
	（目）1 商工総務費	545,709,000	539,632,042	0
	2 商業振興費	102,517,000	90,287,009	0
	3 金融対策費	769,741,774	736,508,117	0
	4 工業振興費	175,583,000	172,171,295	0
	5 企業立地奨励費	1,102,839,000	943,208,000	0
	6 薬業振興費	30,386,000	23,114,479	0
	7 物産振興費	146,783,000	145,723,018	0
	8 観光振興費	1,506,114,000	1,396,036,863	70,500,000
	9 企業団地造成費	6,171,000	6,115,561	0
	10 牛岳温泉健康センター費	58,079,000	57,769,582	0
	11 牛岳温泉スキー場費	65,981,000	40,733,012	0
商工労働部 合計		5,575,513,554	5,009,457,935	235,500,000

執行率 (B+C)/A %	不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの	備考
96.0	42,450,823		
96.0	42,450,823		
96.1	41,812,354	採用活動支援事業補助金、建設・運輸資格取得支援事業補助金 22,219千円 呉羽ハイツ浄化槽復旧工事補助金 13,046千円	
80.4	638,469	富山で働き・学ぶ生き方応援奨学資金貸付事業貸付金 618千円	
93.6	288,104,796		
93.6	288,104,796		
98.9	6,076,958	減債基金積立金 2,310千円	
88.1	12,229,991	小規模事業経営支援事業補助金 6,930千円	
95.7	33,233,657	商工業振興資金等貸付事業補助金 11,713千円 緊急経営基盤安定資金貸付事業補助金・損失補償金 16,609千円 富山県小口事業資金貸付事業貸付金 4,266千円	
98.1	3,411,705	富山市工業排水管人孔蓋更新業務委託 1,100千円	
85.5	159,631,000	企業立地奨励事業補助金 159,631千円	
76.1	7,271,521	くすり関連施設民間活力導入可能性調査業務委託5,449千円	
99.3	1,059,982	2024年度アジア地域輸出拡大プロモーション負担金 750千円	
97.4	39,577,137	水辺空間賑わい創出事業負担金 6,301千円 とやま観光推進機構負担金 3,088千円 光熱水費 1,448千円 牛岳ハイツトイレ洋式化業務委託 5,200千円 楽今日館合併浄化槽2次側電線修繕業務委託1,161千円 コンベンション開催事業補助金等14,287千円	
99.1	55,439		
99.5	309,418		
61.7	25,247,988	牛岳温泉スキー場事業特別会計繰出金 25,247千円	
94.1	330,555,619		

様式 1

歳 入		企業団地造成事業 決算状況調べ（特別会計）	
区分（款項目）		予算現額 A 円	収入済額 B 円 増減（△）額 B-A 円
（款） 1 財産収入		1,909,433,000	1,907,120,798 △ 2,312,202
	（項） 1 財産運用収入	62,342,000	60,030,890 △ 2,311,110
	（目） 1 財産貸付収入	62,342,000	60,030,890 △ 2,311,110
	（項） 2 財産売払収入	1,847,091,000	1,847,089,908 △ 1,092
	（目） 1 不動産売払収入	1,847,091,000	1,847,089,908 △ 1,092
	（款） 2 繰入金	6,171,000	6,115,561 △ 55,439
	（項） 1 一般会計繰入金	6,171,000	6,115,561 △ 55,439
	（目） 1 一般会計繰入金	6,171,000	6,115,561 △ 55,439
（款） 3 諸収入		57,689,000	57,689,577 577
	（項） 1 雑入	57,689,000	57,689,577 577
	（目） 1 雑入	57,689,000	57,689,577 577
歳入合計		1,973,293,000	1,970,925,936 △ 2,367,064

増減（△）額の主なもの	備考
当初予定よりも前倒しで用地を売却したことによる賃借料の減	

歳 出

区分（款項目）		予算現額 A 円	決算額 B 円 翌年度繰越額 C 円
（款） 1 企業団地造成事業費		184,661,000	182,294,678 0
	（項） 1 企業団地造成事業費	184,661,000	182,294,678 0
	（目） 1 企業団地造成事業費	2,334,000	2,277,252 0
	2 繰出金	182,327,000	180,017,426 0
（款） 2 公債費		1,788,632,000	1,788,631,258 0
	（項） 1 公債費	1,788,632,000	1,788,631,258 0
	（目） 1 元金	1,784,795,000	1,784,794,269 0
	2 利子	3,793,000	3,792,989 0
	3 公債諸費	44,000	44,000 0
	歳出合計	1,973,293,000	1,970,925,936 0

執行率 (B+C)/A %	不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの	備考
98.7	2,366,322		
98.7	2,366,322		
97.6	56,748		
98.7	2,309,574	当初予定よりも前倒しで用地を売却したことによる賃借料の減	
99.9	742		
99.9	742		
99.9	731		
99.9	11		
100.0	0		
99.9	2,367,064		

様式 1

歳 入 牛岳温泉健康センター事業 決算状況調べ（特別会計）

区分（款項目）		予算現額 A 円	収入済額 B 円	増減（△）額 B-A 円
（款）1 使用料及び手数料		32,000	81,570	49,570
	（項）1 使用料	32,000	81,570	49,570
	（目）1 行政財産目的外使用料	32,000	81,570	49,570
（款）2 繰入金		58,079,000	57,769,582	△ 309,418
	（項）1 一般会計繰入金	58,079,000	57,769,582	△ 309,418
	（目）1 一般会計繰入金	58,079,000	57,769,582	△ 309,418
歳入合計		58,111,000	57,851,152	△ 259,848

歳 出

区分（款項目）		予算現額 A 円	決算額 B 円	翌年度繰越額 C 円
（款）1 牛岳温泉事業費		58,111,000	57,851,152	0
	（項）1 牛岳温泉事業費	58,111,000	57,851,152	0
	（目）1 健康センター事業費	58,111,000	57,851,152	0
歳出合計		58,111,000	57,851,152	0

増減（△）額の主なもの	備考

執行率 (B+C)/A %	不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの	備考
99.6	259,848		
99.6	259,848		
99.6	259,848		
99.6	259,848		

様式 1

歳 入 牛岳温泉スキー場事業 決算状況調べ（特別会計）

区分（款項目）		予算現額 A 円	収入済額 B 円	増減（△）額 B-A 円
（款） 1 事業収入		63,709,000	90,296,060	26,587,060
	（項） 1 事業収入	63,709,000	90,296,060	26,587,060
	（目） 1 スキー場施設使用料	63,709,000	90,296,060	26,587,060
（款） 2 財産収入		425,000	280,866	△ 144,134
	（項） 1 財産運用収入	425,000	280,866	△ 144,134
	（目） 1 財産貸付収入	425,000	280,866	△ 144,134
（款） 3 繰入金		65,981,000	40,733,012	△ 25,247,988
	（項） 1 一般会計繰入金	65,981,000	40,733,012	△ 25,247,988
	（目） 1 一般会計繰入金	65,981,000	40,733,012	△ 25,247,988
（款） 4 繰越金		40,460	39,460	△ 1,000
	（項） 1 繰越金	40,460	39,460	△ 1,000
	（目） 1 繰越金	40,460	39,460	△ 1,000
（款） 5 諸収入		820,000	1,004,813	184,813
	（項） 1 雑入	820,000	1,004,813	184,813
	（目） 1 雑入	820,000	1,004,813	184,813
（款） 6 市債		113,900,000	111,800,000	△ 2,100,000
	（項） 1 市債	113,900,000	111,800,000	△ 2,100,000
	（目） 1 スキー場整備事業債	113,900,000	111,800,000	△ 2,100,000
歳入合計		244,875,460	244,154,211	△ 721,249

増減（△）額の主なもの	備考
3月補正時に立てた入込者予想数を上回ったことによるリフト使用料の増	
3月補正時に立てた入込者予想数を上回ったことによるリフト使用料の増に伴う繰入金の減	
圧雪車購入費の圧縮に伴う市債の減	

歳 出

区分（款項目）		予算現額 A 円	決算額 B 円	翌年度繰越額 C 円
（款） 1 スキー場事業費		228,250,460	227,947,565	0
	（項） 1 スキー場事業費	228,250,460	227,947,565	0
	（目） 1 管理運営費	118,558,000	118,280,425	
	2 建設費	109,692,460	109,667,140	
（款） 2 公債費		16,625,000	16,206,646	0
	（項） 1 公債費	16,625,000	16,206,646	0
	（目） 1 元金	16,120,000	16,119,861	
	2 利子	505,000	86,785	
歳出合計		244,875,460	244,154,211	0

執行率 (B+C)/A %	不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの	備考
99.9	302,895		
99.9	302,895		
99.8	277,575		
99.9	25,320		
97.5	418,354		
97.5	418,354		
99.9	139		
17.2	418,215		
99.7	721,249		

様式1

歳 入		競輪事業 決算状況調べ（特別会計）		
区分（款項目）		予算現額 A 円	収入済額 B 円	増減（△）額 B-A 円
（款）1 競輪事業収入		23,608,110,000	23,127,517,924	△ 480,592,076
	（項）1 競輪事業収入	23,608,110,000	23,127,517,924	△ 480,592,076
	（目）1 事業収入	23,267,026,000	22,905,518,565	△ 361,507,435
	2 受託事業収入	341,084,000	221,999,359	△ 119,084,641
（款）2 財産収入		2,807,000	2,808,417	1,417
	（項）1 財産運用収入	2,807,000	2,808,417	1,417
	（目）1 財産貸付収入	27,000	27,430	430
	2 利子及び配当金	2,780,000	2,780,987	987
（款）4 繰越金		198,448,000	198,448,681	681
	（項）1 繰越金	198,448,000	198,448,681	681
	（目）1 繰越金	198,448,000	198,448,681	681
（款）5 諸収入		94,999,000	93,950,514	△ 1,048,486
	（項）1 雑入	94,999,000	93,950,514	△ 1,048,486
	（目）1 雑入	94,999,000	93,950,514	△ 1,048,486
歳入合計		23,904,364,000	23,422,725,536	△ 481,638,464

増減（△）額の主なもの	備考
1月、2月主催開催の車券売上収入の見込み違いによる減	
来場者の減少に伴う臨時場外車券売上の減	

歳 出

区分（款項目）		予算現額 A 円	決算額 B 円	翌年度繰越額 C 円
（款）1 競輪費		23,904,364,000	23,349,974,198	8,800,000
	（項）1 競輪費	23,904,364,000	23,349,974,198	8,800,000
	（目）1 競輪費	23,704,364,000	23,149,974,198	8,800,000
	2 繰出金	200,000,000	200,000,000	0
歳出合計		23,904,364,000	23,349,974,198	8,800,000

執行率 (B+C)/A %	不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの	備考
97.7	545,589,802		
97.7	545,589,802		
97.7	545,589,802	出場選手手当5,399千円 JKA委託料、場外発売業務委託料 82,017千円 競輪場施設借上料9,247千円 JKA交付金12,632千円 払戻金 430,373千円	
100.0	0		
97.7	545,589,802		

様式2

令和5年度決算 予算決算委員会の 意見・要望・指摘事項に対する処置状況

所属	意見・要望・指摘事項	処置状況
商工労政課	<p>勤労者雇用対策費について、学生が企業説明会に参加した後、どのような企業に就職したのか、また、県外に行ってしまったのかなどのデータを蓄積していけば、最終的にいろいろな施策を展開できると考える。企業説明会に参加した学生のその後のデータを取って、今後活用できるようにされたい。</p>	<p>合同企業説明会に参加した学生及び企業に対して、内定状況や県内就職の希望等を確認する追跡調査（アンケート）を実施しています。</p> <p>また、令和7年度より合同企業説明会に参加できる企業の要件に「合同企業説明会に参加した学生等の就職人数を報告すること」を追加し、令和8年4月採用分より、どの企業に何人就職したのか把握できるようにしたところであります。</p> <p>このような調査や報告で得られたデータを活用しながら、今後の施策について検討したいと考えております。</p>

様式3

令和5年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所属	監査委員の意見	回答状況
観光政策課 (牛岳温泉スキー場)	<p>特別会計のうちには、収支状況等にさらなる改善の余地が見込まれるものもあると考えられることから、牛岳温泉スキー場事業特別会計は、収支バランスの取れた事業運営に努めるとともに、設備更新や再整備にあたっては、費用対効果を十分に踏まえることにより、一層の収入の確保と経費の削減に取り組み、費用対効果を十分に意識した事業運営を行うことで、一般会計からの繰入金の縮減に努められたい。</p>	<p>本スキー場は、ファミリーからシニアまで幅広い年代層に親しまれ、市民にとって冬場の健康増進に必要なスポーツ施設として直接管理・運営を行うとともに、地域の活性化を図っている。</p> <p>1 営業について 暖冬による積雪不足や元日に発生した能登半島地震の影響により、書き入れ時である1/2～1/6、1/10～1/12に営業ができず、また、雪不足のため2/19～2/29まで営業が出来なかったことから、51日間の営業に留まり、また、石川県からの利用者が減少したこと等から、リフト使用料収入は47,739千円で過去10年間では2番目に低いシーズンとなった。</p> <p>2 改善事項について 令和5年度はリフト料金について、約10%の値上げを行い、さらに利用促進策として中学生を大人料金から小人料金へ変更した結果、小人1日券の売り上げが対前年比109.1%(R4:5,382千円⇒R5:5,870千円)となった。</p> <p>また、さらなる利便性の向上に向けて新たにキャッシュレス決済を導入したところ、売り上げ全体のうち約33.5%(15,993千円)の利用があったことからサービスの向上に繋がったものと推察している。</p> <p>3 設備更新や再整備について 本スキー場が所有する設備については、それぞれ竣工から年月が経過し老朽化していることから、最低限必要な修繕を実施した。今後、設備更新が必要な場合には刃地債等の財源を活用するとともに、負担の少な</p>

様式3

い更新・修繕を検討したい。

	導入 年度	経過年 (R5 時点)	R6 修繕料等
クワッド	平成14年	21年	5,932 千円
第2高速 ペアリフト	平成元年	34年	2,876 千円
第1ペア リフト	平成21年	14年	282 千円
人工造雪機	平成6年	29年	22,158 千円

また令和5年度に、牛岳温泉スキー場及び周辺施設再整備基本構想を策定したことから、新たな施設整備や既存施設との連携等、地域の特長を踏まえた再整備事業について検討してまいりたい。

4 繰入金について

令和5年度については、能登半島地震や暖冬の影響により営業期間が短く歳入が減少したことから、赤字補填分として一般会計から62,988千円の繰入を行った。今後もより一層の経費削減に努め一般会計からの繰入金の縮減に努めていきたい。